

筑波経済月報 No.109 2022.8

■ 企業探訪

時代の流れを読み新しい発想で自ら市場を作る

株式会社ガレージオノ

■ 支店長のわがまち紹介

環境変化に対応し次代につながるまちをつくる

鹿嶋市

■ 研究員レポート

第75回「茨城県内企業経営動向調査」(2022年6月調査)

2022年夏季ボーナス支給に関するアンケート調査

筑波総研 株式会社



鹿島神宮「西の一之鳥居」



表紙：水郷三都観光推進協議会
水郷地域と東国三社巡りの魅力あふれるフォトコンテスト
鹿嶋市観光協会会長賞 「夕刻の水上鳥居」 寺沼聖さん

「一之鳥居」とは、神社の本殿から一番外側の鳥居のことで、近づくにつれて「二之鳥居」「三之鳥居」といいます。鹿島神宮には、東西南北それぞれに一之鳥居が存在し、東は鹿嶋市明石浜、西は鹿嶋市大船津、南は神栖市息栖、北は鹿嶋市浜津賀に位置しています。そして、これら4つの中で最大の鳥居が、鹿嶋市大船津にある「西の一之鳥居」(表紙写真)です。北浦から流れ出る鱒川にかかる神宮橋付近にそびえ立つ鳥居で、高さ18.5m、幅22.5mの日本最大級の水上鳥居です。現在の鳥居は2013年6月に再建されたものですが、平安時代から水上にあったことが記録に残っており、船が運行するときの目印になっていたといわれています。なお、鳥居の形式は、その構造によって「神明鳥居」と「明神鳥居」の2種類に大別できるとされており、鹿島神宮の鳥居はシンプルな構造を特徴とする「神明鳥居」に分類され、その中でも四角形の貫が柱の外に突き出ているなどの特徴を持つものは、鹿島神宮の名をとって「鹿島鳥居」と呼ばれています。

西の一之鳥居のある鹿嶋市大船津は、かつて水運による経済や文化の要衝で、鹿島神宮参拝の玄関口となっていました。現在では、夕日を背景にしたフォトスポットとして人気があり、毎年恒例の花火大会では、色鮮やかな花火と鳥居を一枚の写真におさめることができます。また、12年に一度、午年に開催される鹿島神宮の式年大祭「御船祭」では、御神輿が鳥居をくぐって御座船へと進む様が見どころの一つです。次回の御船祭は4年後の2026年(令和8年)、9月1日から3日にかけて行われます。

なお、例年8月下旬に開催されている花火大会は、コロナ禍で2020年から中止となっていましたが、今年は秋の開催を目指しているそうです。大会実現の際には夕方から訪れて、夕日と花火の絶景フォトにチャレンジしてみてもいかがでしょうか。



鹿嶋市花火大会



御船祭

(写真提供/鹿島神宮、鹿嶋市)

《Information》

- ◆所在地
茨城県鹿嶋市大船津2251沖
- ◆アクセス方法
電車：鹿島臨海鉄道大洗鹿島線
鹿島神宮駅から徒歩25分
車：東関東道潮来ICから約10分
- ◆お問い合わせ
鹿嶋市経済振興部
商工観光課
0299-82-2911